

前回(令和3年度第1回)委員会での議事概要

■ 島松地区に駅通所が置かれ農業が取り組まれた背景をしっかりと伝える

- ・ 農業と駅通所が同じ場所で行われていたというのは、関係があり必然で、その当時、情報が行き交う基点になっていたのだと思う。展示などを実施していくときに、しっかりと伝えていきたい。
- ・ 一人の人がここで農業を始め、情報も得つつ、駅通所業務もやった。なぜここでやりだしたのか、駅通所という単なるインフラやシステムでなく、その時の社会背景というものも意識できると良い。
- ・ 駅通所制度という北海道特有のこと、島松というこの場所が重要だと思う。史跡のエリア内では、広げて考えないとなかなか表現できないと思う。その辺りは展示なりどのように表現するか。

■ 駅通所時代の前後の歴史も踏まえた整理

- ・ 駅通所時代(明治 17～30 年)を見せる整備と書かれているが、それも一つありだと思うが、その後神社になったことなど、そこがどのように整理できていくのか。
- ・ この建物が持っている、特徴、単純に駅通所だけでなく重層化しているところを、どう表現するかというのは一番大切で難しい。史跡自体は、駅通所というところが評価されているので、明治 17～30 年が一つの大切な部分としてある。
- ・ 中山さんが土地に入ってから、駅通所の前のこと、駅通所には直接かわからないかもしれないが、水田をやってみたり、宿をやってみたりということは、この場所や駅通所という場に付加されることだと思う。
- ・ 明治 17 年ではなくて、もう少し前からでも捉えると、ここの中山久蔵事績エリアについてもすんなり入って来ると思う。

■ 史跡旧島松駅通所の価値の整理

- ・ 今回は史跡の検討であり、建物の価値も分かるが、中山さんも色々な役割、情報を流したり人を繋げたりしてきたのだと思うと、付随的なものもウェイトが高いと思った。
- ・ 本質的価値と付加価値があるが、その付加価値の表現が難しい。駅通所そのものがまず核なのだけど、それ以外の色々な歴史が重曹していることがこの魅力だという事が表現されると良い。
- ・ 駅通所が大切だが、それに関連して、人や周りのことも本質的価値クラスとして、受け止めるという構図でいくと良いのかと思う。
- ・ 今のコンセプト図の表現だと、真ん中以外が付加的なものに見えてしまう。付加価値ではあるが、それぞれ重要ではないか。表現の仕方と、コンセプトという言い方が適切でないのかもしれない。

■ 遺構の表現に関する計画

- ・ 暖水路に通水するのならば、小学生が見学に来たら、出るところと、流れるところ、排水するところを見られるといい。1度温度が上昇したなどの変化を見られるようにすると分かりやすい。
- ・ 出水口と出ていくところの温度が見られたら、そのようなことを昔の人は考えてやっていたのだという事が見られて、それでも十分なのではないかと思う。同じような機能のものがあれば、歴史的な価値の一つを伝えることができる。基本的な原理を見ることができれば、展示としての意味があるのではないか。
- ・ 「遺構表現計画」という言葉は一般的なのか。分かりやすく変えても良い。

- ・ 暖水路について、SDGs 的な観点で見てもらえると、より現代にも繋がる魅力という視点で伝えられるだろう。

■防災設備に関する記述

- ・ 防災設備についても気になる処があるならば、計画に入れておくと、後で取組みやすい。電動のポンプだと地震の時には使えなくなってしまう可能性がある。エンジンポンプなども検討してみるといい。事情があると思うので、必要に合わせて記載してもらえると良い

■建物内部の展示のあり方

- ・ 内部の資料の展示については、今後の話になるかもしれないが、どんな風に展示保存していくか、どんなふうに管理していくか、ということも大切。
- ・ コンパクトな空間にもすごい多様な資料でボリュームが満載な現状である。ボリュームがあることで、色々なことができると思うので、何を見せるかということは大切。
- ・ 重厚な内容なので、冊子的なものもあると、現場では見切れなくても、後から理解してもらえと思う。
- ・ パンフレットは情報を少しずつシリーズもので出すなどすると、リピーターへもつながる。
- ・ 建物の展示で伝えたい内容を表現しようとしているのであれば、本当にそれでいいのかと思う。

■外部の展示のあり方

- ・ 石碑が老朽化しているということで、補修していくという観点で、建物はもちろんだが、周りの要素についても、地震の際にどのような対応するかも大切である。
- ・ 石碑等は復旧できるような記録などはしてあるのだろうか。一度壊れてしまったら、修復できるようなデータがこの段階で整理できていると良いのかなと思う。バリアフリーの視点で、車椅子の方も行けないところもあるが、例えばそのデータを提供して見てもらうというのにも応用できると思う。

■史跡周辺の整備の方向性

- ・ 史跡の隣接地についても完成予想図に描いていくのであれば、周辺の位置付けを整理して欲しい。
- ・ 史跡をサポートする考えを周辺含めて全体の整備方針として示していくといいと思う。